

1. 序論

私達大学生は自分自身で洋服を選ぶことや化粧をすることによっておしゃれを楽しんでいる。筆者は本論文でおしゃれ心の芽生えと着せ替え人形や着せ替えゲームによる影響を明らかにすることを目的として調査・研究を行った。

幼少期は、着せ替え人形や着せ替えゲームを楽しんでいた学生が多いと思われるが、そのおもちゃ遊びが私たちのおしゃれ心を芽生えさせるきっかけなのではないかと考え、本学の学生へのアンケート調査を通じて明らかにしたいと考えた。

普段、当たり前のようにおしゃれを楽しんでいるが、いつからおしゃれを始めたのか、何のためにおしゃれをするのか、そしておしゃれを始めたきっかけを明確にしたいと考えた。

2. 調査方法

本学の学生にアンケート調査を実施した。

調査対象：服飾造形学類 128名

健康栄養学類 266名

計 394名

調査項目：①着せ替え人形の使用経験の有無

②初めて自ら洋服を選んだ年齢

③初めて自ら口紅を付けた年齢

④おしゃれをする目的

⑤幼少期に使用していた玩具

⑥日頃おしゃれを意識しているか

⑦おしゃれに使用する1ヶ月の金額

アンケート調査の結果を3Dグラフ等に整理し詳細に分析した。異なる群間の相関を確認する方法として2つの3Dグラフの重ね合わせを行なった。

3. 結果

日頃おしゃれを意識している学生は、自ら洋服を選ぶようになった年齢・自ら口紅をつけるようになった年齢が早く、おしゃれに使用する1ヶ月の金額が高い傾向にあることが分かった。

また、着せ替え人形・着せ替えゲームの使用経験がある学生にも同様の結果が確認され、おしゃ

れ心の芽生えに影響していることが示唆された。

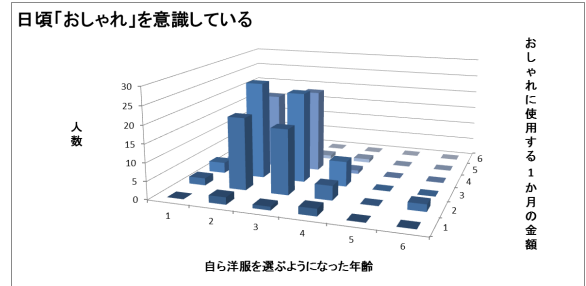


図1.服選び開始年齢と使用金額（おしゃれ）の関係

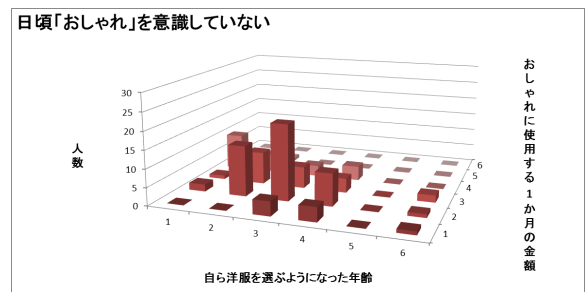


図2.服選び開始年齢と使用金額（おしゃれ）の関係

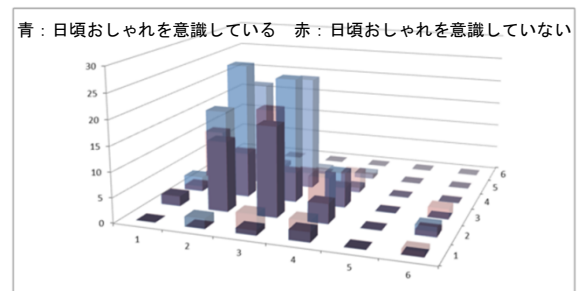


図3. 服選び開始年齢と使用金額（おしゃれ）の相関

(図1と図2を半透明化し、重ねたグラフ)

4. 総括

今回、おしゃれ心の芽生えという観点で研究を行ったが、多くのデータから様々な発見があり、おしゃれの奥深さを感じた。年齢を重ねるにつれ、女性は美しくなりたいという気持ちが強くなり、身だしなみにも気を遣うようになる。そのきっかけとなるおしゃれ心の原点は、幼い頃のおもちゃ遊びや人形遊びにあることが示唆された。

また、それぞれの家庭によって子供に与える玩具が異なることから、着せ替え人形や着せ替えゲームを遊び道具として使用させる親は、自分自身がおしゃれへの関心が高いと考えられた。